

# マイトトップニュース

## 権利尊重される社会に

病气や障害のために常に寝たきりだったり、さまざまな機器をつけなければならなかったりして、市販の服が着にくい方のために開発された服が、少しずつ普及してきている。それらの服は着やすいだけでなく、「かわいい」「カッコいい」



を重視したものだそうである。私はこの記事の「『病气

ひろた ゆいあ 廣田 結愛さん(仁愛女高1年)

「病气の子にもかわいい」を市民団体も啓発

「医療新世紀」

「僕も用品に工夫」

「外見ケア 広がり」

「オシャレをする」といった小さな権利を、誰もが大切にされる社会になると思います。

なのにオシャレなんて』という意識は残念ながらまだある」という文章にショックを受けた。化粧やファッション雑誌などが普及していることは、みんなが外見を気にしていることの表れだと思いが、外見が気になることに病气や障害の有無は関係あるだろうか。もちろんないだろう。病气や障害に対するこのような偏見が残る社会では、それらに苦しんでいる人が気にしなくても済むようになっていくべきなのではないだろうか。